

令和 4 年度郡山市ひとり親世帯等意向調査にかかる分析結果

調査結果の概要

- 令和 4 年は令和 3 年度までの本市ひとり親世帯等意向調査と異なり、小学生から高校生までの「子どもの就学にかかる費用」についてのニーズ等を把握することを主な目的としています。
- 子どもの教育費のうち、学校の授業以外の「塾」や「習い事」など、主に就学援助制度の対象とならない費用について調査を行い、助成を要望するひとり親世帯が最も多かったのは、「学習塾、家庭教師、通信講座」の費用であったことから、支援策の検討が必要と考えられます。
- 支援の充実を求める施策として、子どもの教育費支援、住宅支援、子どもの学習支援、就労支援、資格取得支援、養育費確保支援を要望するひとり親世帯が多かったことから、新たな支援策や、既に実施している施策の周知方法等についても検討が必要と考えられます。
- 回答状況については、令和 3 年度の調査対象者数は 2,877 人、令和 4 年度の調査対象者数は 2,762 人と 115 人減少しておりますが、回答率は 3.2 ポイント増加しています。

個別調査結果 ※ () は令和 3 年度のデータ

1 数値調査について

(1) 世帯の状況 (問 2)

- ①年齢は、「40代」が 41.64% (41.92%) と最も高く、「30代」、「40代」を合わせると 78.73% (78.36%) となっています。

【特記事項】

年齢は、「50代」が 158 人 (131 人)、10.12% (8.54%) と、27 人 (1.58%) 増加しています。

(2) 収入の状況 (問 3)

- ①総収入は、「150万円～200万円未満」が 20.56% (16.69%) と最も高く、次いで「100万円～150万円未満」が 17.94% (17.34%)、「200万円～250万円」が 17.23% (16.10%) となっています。
- 300万円未満までの合計は、84.43% (73.53%) となっています。

【特記事項】

平均収入額を算定した結果、令和4年度は約197万3千円（約198万1千円）となっています。福島県ひとり親世帯実態調査の令和元年度平均収入額は約196万3千円です。

(3) 子どもの状況（問4）

- ①小学生がいる割合は、40.74%（35.07%）と最も高く、次いで中学生の26.91%（26.60%）となっています。また、小学校就学前の子どもがいる割合は21.97%（21.38%）となっています。

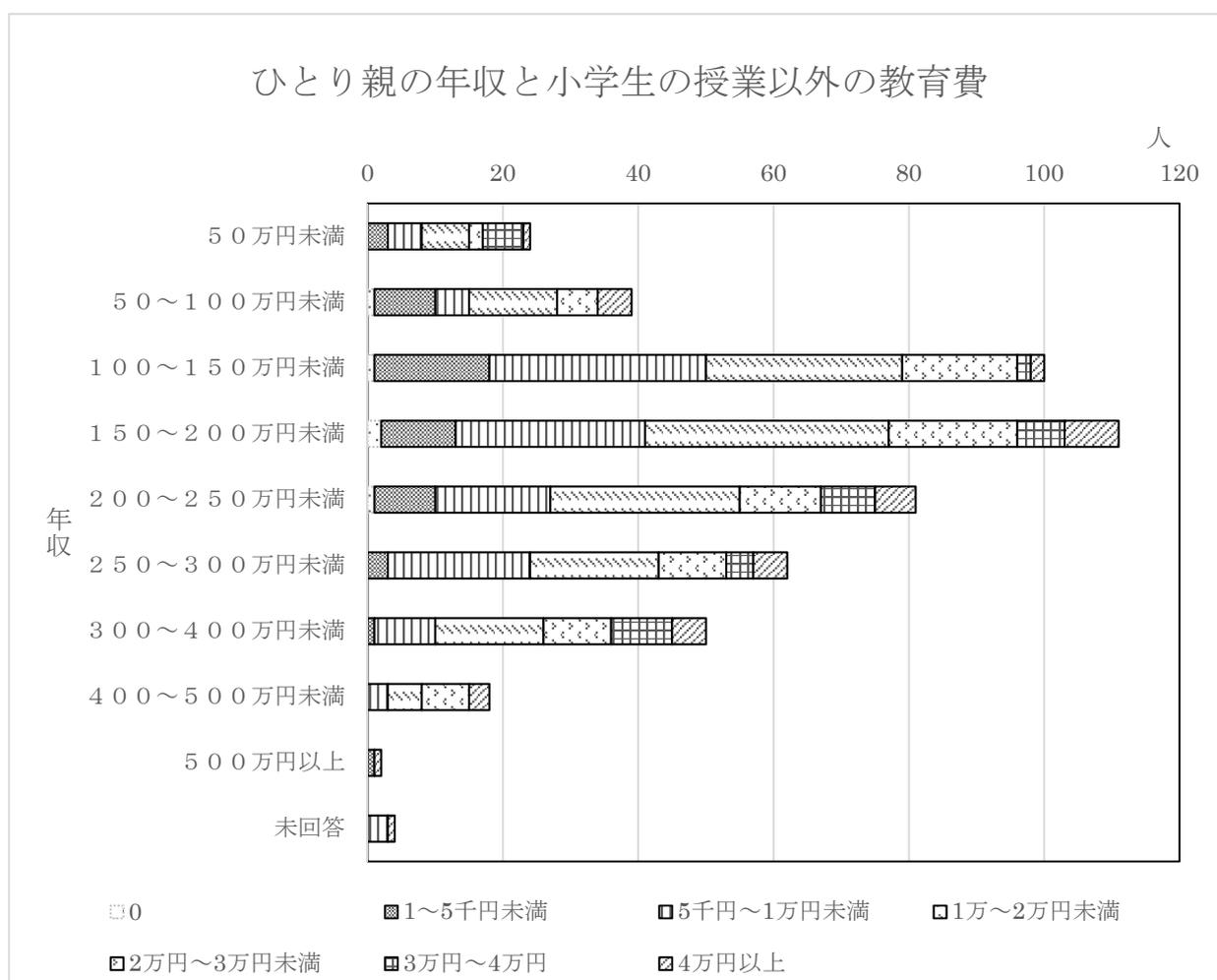
(4) 子どもの教育費

(ア)小学生の学校以外の塾、習い事等への支出（問6、問3関連）

①「部活動、特設クラブ以外の習い事（スポーツ少年団、スイミングスクール、空手などのスポーツ系）」の割合が25.33%と最も高く、次いで「放課後児童クラブ、民間児童クラブ等」の割合が24.85%となっています。

②支出額は、「10,000円～20,000円未満」の割合が31.16%と最も高く、次いで「5,000円～10,000円未満」の割合が25.05%となっています。

小学生の授業以外の塾、習い事等に支出した費用月額 averages は、15,724円です。



【特記事項】

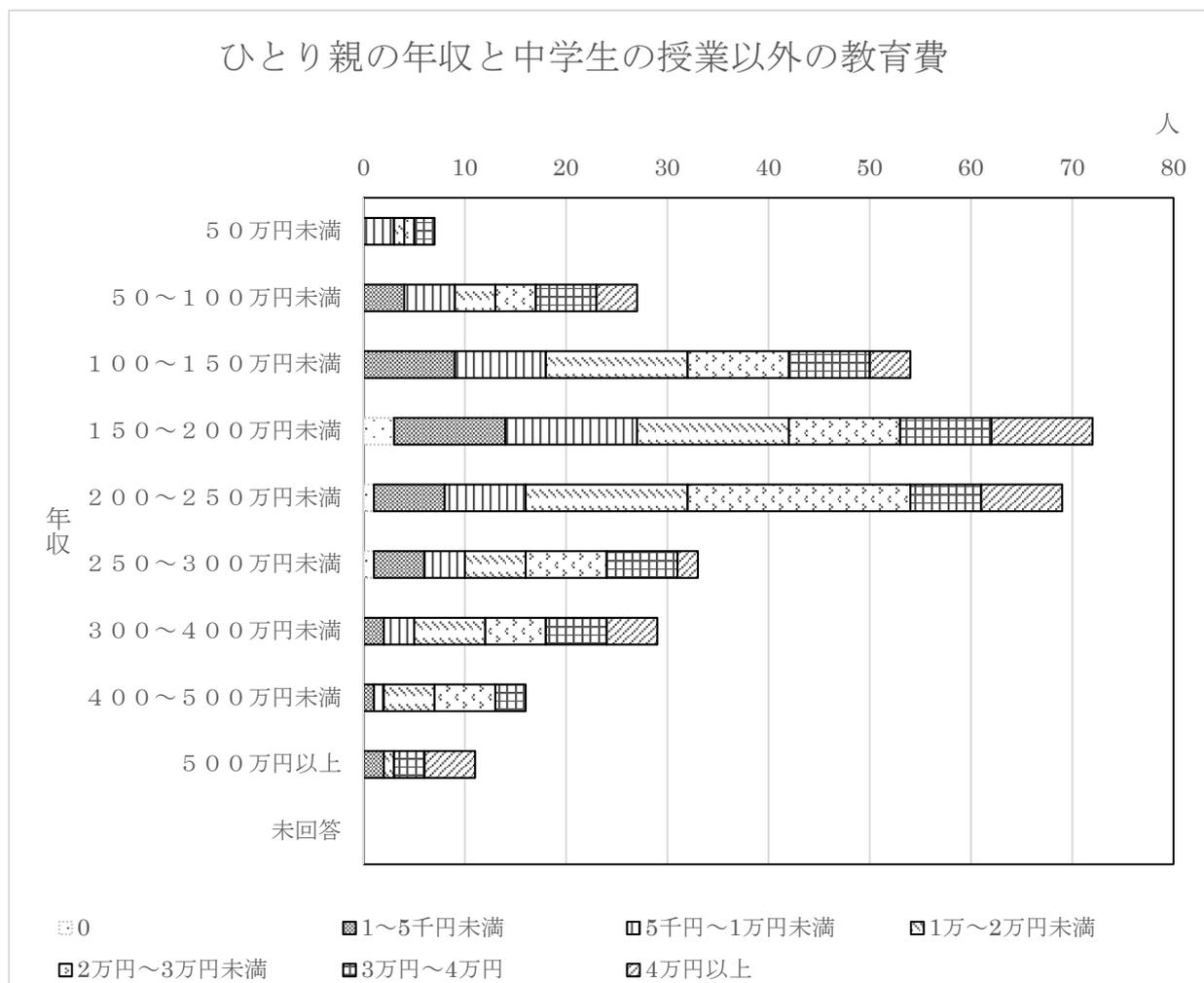
小学生の授業以外の塾、習い事等に支出した費用月額 averages は、15,724円です。年額換算で、188,688円です。平均年収額1,973,801円と比較すると、平均年収額の約9.6%となっています。

(イ) 中学生の学校以外の塾、習い事等への支出 (問7、問3 関連)

① 「部活動、特設クラブ (野球、サッカー、陸上等のスポーツ系)」の割合が35.25%と最も高く、次いで「学習塾、家庭教師、通信講座」の割合が32.08%となっています。

② 支出額は、「10,000円～20,000円未満」の割合が21.70%と最も高く、次いで「20,000円～30,000円未満」の割合が21.38%となっています。

中学生の授業以外の塾、習い事等に支出した費用月額平均は、19,171円です。



【特記事項】

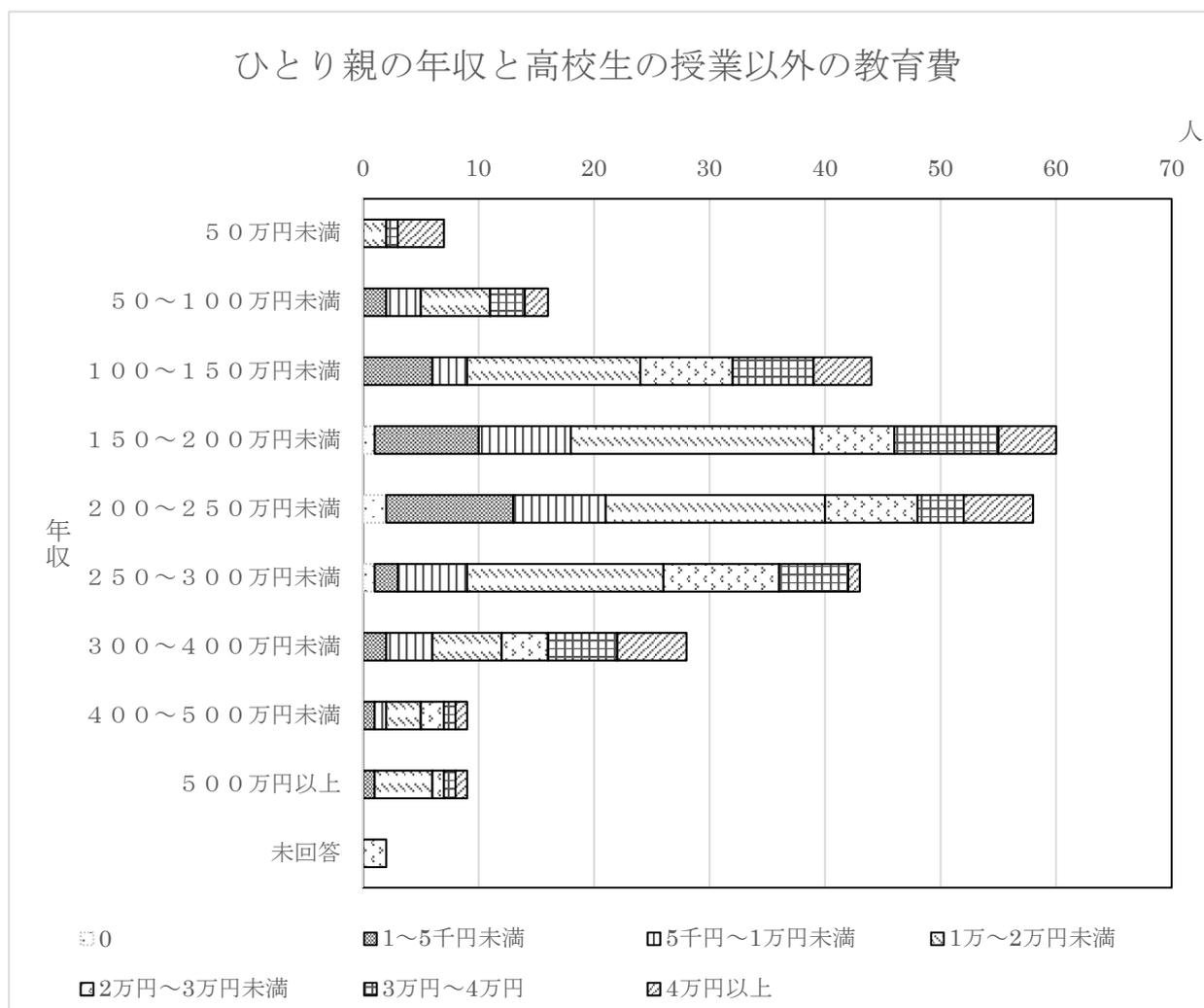
中学生の授業以外の塾、習い事等に支出した費用月額平均は、19,171円です。年額換算で、230,052円です。平均年収額1,973,801円と比較すると、平均年収額の約11.7%となっています。

(ウ) 高校生の学校以外の塾、習い事等への支出 (問9、問3 関連)

①「部活動、特設クラブ (野球、サッカー、陸上等のスポーツ系)」の割合が38.15%と最も高く、次いで「部活動、特設クラブ (合奏、合唱、美術等の文化系)」と「学習塾、家庭教師、通信講座」の割合が21.68%となっています。

②支出額は「10,000 円～20,000 円未満」の割合34.06%と最も高く、次いで「20,000 円～30,000 円未満」の割合が15.22%となっています。

高校生の授業以外の塾、習い事等に支出した費用月額平均は、19,402円です。



【特記事項】

高校生の授業以外の塾、習い事等に支出した費用月額平均は、19,402円です。年額換算で、232,824円です。平均年収額1,973,801円と比較すると、平均年収額の約11.8%となっています。

(エ) 小学生、中学生、高校生の授業以外の塾、習い事等にかかる費用のうち、助成を一番望む費用（問5）

「学習塾、家庭教師、通信講座」が48.20%、次いで「部活動、特設クラブ」が23.77%となっています。

【特記事項】

小学生、中学生、高校生の授業以外の塾、習い事等に支出した費用では、「学習塾、家庭教師、通信講座」が小学生では3位、中学生では2位、高校生では、同率2位ですが、助成を一番望むものでは「学習塾、家庭教師、通信講座」が最も高くなっています。「学習塾、家庭教師、通信講座」の利用を希望していることが推測できます。次いで「部活動、特設クラブ」となっており、中学生と高校生では支払っている費用が「部活動、特設クラブ」が最上位であることから助成を望んでいる方が多いことが考えられます。

(8) ひとり親家庭支援制度の状況（問12）

①充実を望む支援策は、「子どもの就学にかかる費用が軽減されること」が43.88%

（39.50%）と最も高く、次いで「住宅を探したり、住宅費を軽減したりするための支援が受けられること」が36.19%（29.92%）、「子どもの学習支援（少人数指導や家庭教師）が受けられること」26.33%（-）となっています。「就職・転職のための支援」18.00%（17.08%）、「資格取得への支援」16.46%（-）、「養育費確保のための支援」16.40%（-）、「一時的に子どもを預けられること」15.76%（14.15%）となっています。

【特記事項】

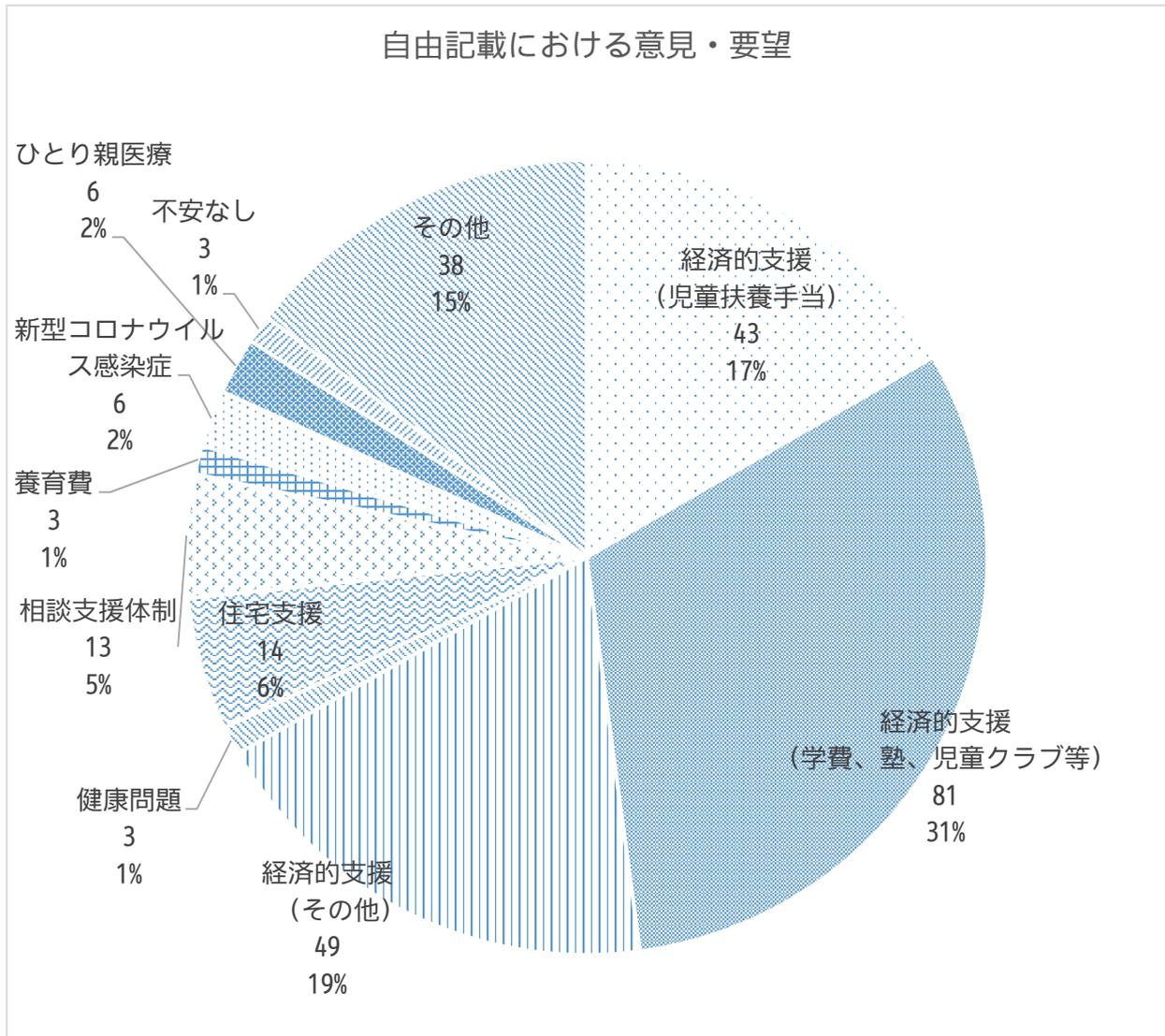
「子どもの就学にかかる費用が軽減されること」や「子どもの学習支援（少人数指導や家庭教師）が受けられること」の割合が高くなっていることから、支援施策の検討が求められています。

令和4年度には、民間住宅についての「ひとり親世帯家賃減額事業」、「ひとり親世帯家賃債務保証料減額事業」を開始し、養育費確保のための「公正証書作成等支援事業補助金」も新設しましたので周知を図る必要があります。

2 市（行政）に対する意見・要望について

自由記載において令和3年度は266件、令和4年度は259件の意見が寄せられ、令和4年度は、新型コロナウイルス感染症に起因する意見が6件寄せられました。

その他は、昨年度同様、「経済的支援」、「健康問題」、「住宅支援」、「相談支援体制」、「養育費」について意見が多く寄せられています。



(1) 経済的支援（抜粋）

(児童扶養手当)

- ①『年収の幅を上げてほしい。生活水準が下がっている。一人の収入では頑張っても限度があり、収入のために仕事を頑張ると子供との時間が無くなる。』
- ②『児童扶養手当をもう少し増やしてほしい。両親と住んでいても親は親の生活があり、私と子は別の生活があります。小さい子を育てながらの仕事には限界があります。もう少し他人事のようにしないでほしい。』

(学費、塾、児童クラブ等)

- ③『学童の負担が減ったのはありがたい。しかし、子供に障害があるため他のことでもお金がかかる。また習い事をさせたいが金銭的に難しいので習い事に支援がもっとあると助かる。』

④『ひとり親支援すごく助かります。ありがとうございます。子供が小さい時はあまりお金がかからないが中学校卒業後の不安がすごくあります。私立に行くことができない場合だと金銭面の負担でちゃんと卒業させられるのか等。そのような悩みや不安を解決できる場所、支援も増えてほしいです。』

⑤『ひとり親で収入が低い為に塾に通うことが不可能で高校進学不安がある。』

(その他)

⑥『資格取得への支援が受けられてよかったです。ひとり親への給付金等が何度か出ていて助かります。』

(2) 健康問題 (抜粋)

①『シングルマザーです。自身も、子供も発達障害を持っています。生きづらく、私も障害があり、なかなか働くことができずつらいです。発達障害を持つ我が子が、小学校低学年の頃に、担任の先生からはいりよを全く受けられず、それどころか体調、精神的苦痛、いじめを受け、二次障害を発症してしまいました。私も障害をもつ身ですが、息子の心のケアにつとめなければなりません。このような時はどこに相談するのがよいでしょうか。教育委員会でしょうか。』

(3) 住宅支援 (抜粋)

①『市営住宅のほかにも、場所や学区等の問題で利用できないので、一般のアパートなどでも家賃軽減支援が受けられるといいです。』

(4) 相談支援体制 (抜粋)

①『学校の中で1人1人悩みや相談を子供たち自身でできる時間や環境があるといいかなと思います。親や友達、先生などに相談できない子もいると思うし、言わずに抱え込むことがあると思うので、第三、第四者の聞き役があると良いかな。』

②『上記 問12の1が気軽にできる場所があると有り難い。にこ館にもあるが、何となく入りにくい、相談しにくい雰囲気を利用してない。相談とまではいかなくても気軽に話を聞いてもらえる空間(人)が欲しいです。』

(注) 上記 問12の1・・・「子どものことや生活のことなど悩みごとを相談できること」

(5) 養育費 (抜粋)

①『調停で決定した養育費が支払われない。強制執行をしても遅れる。本人の問題なのはわかるが、社会的体制のようなこと(勤務先告知など)あればいいと思います。養育費未払いの立替など。』

(6) 新型コロナウイルス感染症 (抜粋)

①『ここ数年はコロナの影響もあり仕事で残業もなくなり収入が少なくなりました。学校でのオンライン授業等もあり家に居る時間も増えると自動的に光熱費や食費等も増えます。もう少し何かしらの支援があると助かります。』